

参加者の中から2名の学生にご協力頂き、感想を寄せて頂きました。

## 夏期セミナーに参加して

東北大学大学院工学研究科

齋藤 健

今回、学生の身分ではありますが初めて「核燃料・夏期セミナー」に参加させていただきました。真夏の鹿児島で行うということで、茹だる暑さであることを覚悟して向かいましたが、開催場所である霧島観光ホテルは、高所にあるため涼しく、過ごしやすい環境でした。ホテルに向かう道中は雨が降っていましたが、到着するときには青空となり、バスの中から見えた虹が印象深く心に残っています。

2日間に渡る講演では、石野先生の照射効果に始まり、21世紀の原子力開発、MOX燃料製造、ジルコニウム合金の組織観察、フランスの原子力状況など多岐にわたる内容があり、幅広い知識を得ることができました。特に興味深かったのが、古屋廣高氏の照射済燃料のX線CTによる非破壊試験の開発です。照射済燃料を破壊することなく、中心空孔径、燃料棒の変形を簡単に測定できることは、これまで実施されていた破壊検査の工程を短縮可能なことから素晴らしい成果であると感じました。他にも、坂本寛氏の出力急昇模擬試験に関する発表は、私の現在の研究がジルコニウム合金ということもあり、非常に勉強になりました。燃料側と減速材側との温度勾配による水素の半径方向への拡散の話は初めて聞く話で大変興味深く感じました。

私の勉強不足から今回の講演の内容の全てを理解するには至らないのが残念でありました。今後、自身の研究にも深く関係する内容ですのでしっかりと学んでいきたいと思いました。

夏期セミナー2日目には、ポスターセッションにて発表させていただき、多くの方に助言をいただきました。舌足らずな私の説明にも耳を貸していただき、また助言をして下さいました皆様、本当にありがとうございました。心残りであるのは自分の発表があったために他のポスターセッション発表者の発表を聞くことができなかったことです。

3日目は、自称世界4大美女のバスガイドに案内され、霧島神宮、桜島を観光しました。霧島神宮では結婚式が執り行われており、参拝も忘れて花嫁に目を奪われていました。桜島観光中には噴火が起き、火山灰の洗礼を受けました。Yシャツには火山灰が付き、メガネのレンズは汚れました。鹿児島市民は常に火山灰に備えマスクを常備しているらしく、鹿児島での生活の苦労を実感致しました。

今回の夏期セミナーへの参加は、普段研究室に籠りがちな生活の中で研究者・企業の方々と出会う切っ掛けを与えてもらい、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後の夏期セミナーにて、また皆様とお会いできる日が楽しみです。

## 夏期セミナーに参加して

大阪大学 大学院工学研究科  
徳島 二之

平成 22 年 8 月 5 日から 7 日にかけて鹿児島県の霧島で開催された核燃料部会夏期セミナーに参加させて頂きました。学生として最後のセミナーであり、また出身地近くでの開催ということもあり非常に楽しみにしておりました。

セミナーの内容については、原子力の全体像をとらえたものから先進的な研究内容、また実際の製造に関わる話まで多種多様であり、終始興味深く講演を拝聴することが出来ました。印象に残った講演の 1 つとして、上村先生の「水炉燃料破損に関する IAEA レビュー」があります。破損の数を原因や国別に分けて統計を取ったデータがあり、このような統計学的なアプローチも重要であると痛感いたしました。また今年度のセミナーではいくつかの講演が英語で行われたのですが、私の英語の能力が乏しく、正確に理解することが出来ず非常に残念でした。今後私自身の課題として、英語の能力を磨かなければならないと切実に感じた次第であります。

また 1 日目の夜には懇親会が開催されました。ホテルの料理に加え、スウェーデンの方々が郷土の料理、お酒を準備して下さいました。パンの上にチーズやニシンをのせた料理が絶品であり、大変おいしく頂いたことを覚えております。また懇親会中に、大先生方から若手の先生方までの大変貴重な意見を拝聴することができ、非常に有意義な時間を過ごしました。

セミナーの最後には、特別講演として地元の講演が行われました。シラスは私にとっても大変身近なものであり、洗顔料に用いられていることを知り大変驚きました。またこのような表現が適切かどうか分かりませんが、先生方が最後まで真剣にお聞きになられていたことを、地元の間人として大変うれしく思いました。1 つの分野に固執せず様々な分野を学ぶことは、技術者として非常に重要なことであると考えておりますので、今後ともこのような講演を続けていくことは有意義なことであると思います。

今年度のセミナーでも昨年度に引き続きポスターセッションが開催されました。若手研究者及び学生が対象であり、僭越ながら私も発表者として参加させて頂きました。議論を活発に行うとともに、先生方から貴重なご助言を頂戴し、大変勉強になりました。今後この経験を活かせていければと思います。

最後に、拙い文章ではありますが所感を述べる機会を与えて頂き、感謝いたします。光栄にも来年度から某原子力燃料メーカーで働くことが決まっておりますので、今回のセミナーで学んだことを忘れぬよう今後とも精進し、原子力の発展に貢献していきたいと考えております。